

## 8 だいとう地域塾（大東市） ——参加・体験を重視した「地域学」

### 【事業の特徴】

「だいとう地域塾」は、参加型・体験型の手法を積極的に取り入れた、地域について学ぶ講座であり、市民の居住地域に対する興味・関心を向上させ、文化の周知・広報および市民活動のきっかけを提供することを目的にしている。

#### （1）発足の経緯

大阪府大東市立生涯学習センター「アクロス」は、指定管理者の株式会社アステムが運営しており、「だいとう地域塾」は指定管理委託項目の中にある、地域について学ぶ講座に該当している。

この「だいとう地域塾」の前身は「だいとう塾」で、歴史に特化した事業として、指定管理の第1期（平成18～20年度）に実施されていた。そこでは、市制施行50年を記念して、公募による市民とともに編纂された「だいとう学テキスト」をもとに郷土史をテーマに学習が展開されていた。「だいとう学テキスト」は、平成18年5月に「アクロス」が開館するタイミングで作られており、指定管理の導入の際に、このテキストを使って講座（だいとう塾）を行ってほしいとの要望を受けての開設であった。その結果、3年間の「だいとう塾」で、大東市の歴史については広く深く学習することができたようだ。しかしその一方で、指定管理者側の担当者らは、歴史だけに特化していくと頭打ちになってしまい、歴史に興味ある人しか参加してもらえないことになると限界を感じていた。

そこで、平成21年度の指定管理第2期（平成21～25年度）の獲得を契機に、今後は現在の大東市に注目し、市民にいまの地元のことを知ってほしい、さらに、テーマも歴史に特化するのではなく、「地域学」として産業や環境などについても幅広く扱いたいとの提案を行った。第2期目も引き続き「だいとう塾」での実施を望んでいた行政側もこの提案を受け入れ、名称も「だいとう地域塾」に改め、平成21年度から新たなスタートを切ったのである。

こうしてみると、「だいとう地域塾」の発足にあたって、担当者として企画・運営を行ったチーフとアドバイザーとして支えた館長の力によるところが大きいことがわかる。もともと、指定管理者である株式会社アステムが映像・イベントの企画会社であり、文化イベントの経験があったこともプラスに働いているが、お二人とも学芸員の資格を有し、地域や文化、さらには社会教育への関心も強く、その問題意識の高さが「だいとう地域塾」を支えているといっても過言ではないだろう。

このようにして、できるだけ、これまで他で取り上げられてこなかったような地域の魅力について、スポットをあてた「だいとう地域塾」が発足したのである。

#### （2）実施概要

年間に10数回講座が行われる「だいとう地域塾」は、「大人の社会見学」、「川シリーズ」、「まち歩き系（プラダイトウ）」の3本柱で構成されている。

#### ①「大人の社会見学」

「大人の社会見学」は、「だいとう地域塾」以前から単発の企画として実施されていたが、「だいとう地域塾」にピッタリあてはまるということで、「だいとう地域塾」の中でも引き継ぎ行っている。このシリーズは、実際に現地に行ってみることで、地域内にある工場や店の存在を実感することを目的に、「工場系」と「商店系」から成っている。【参考1】は、平成22年度の「大人の社会見学」の開催要項を示したものである。

大東市は、製造業の工場が多い地域にもかかわらず、部品の製造などの会社が多いため、地域住民は隣に工場があってもそこで何が製造されているのか、どんな人が働いているのか、知る機会が少なかった。そこで、それらの工場で働く方々と直接お会いして、普段どのような思いで仕事をし、地域に対してどのような思いをもっているのかを知ることを目的に工場への見学がテーマとして選ばれている。実際、平成22年度の要項もみても、「工場系」として3つの会社の見学が用意されていた。【参考2】は、その見学の様子の一部を示した写真である。要項の最後には、「商店系」として商店街への見学も加えられていた。【参考3】はその見学の様子の一部を示した写真である。“いちげんさん”が商店街で買い物をするのはハードルが結構高かったりするので、何軒かにお願いして商店街を食べ歩きしたところ好評を博したようだ。

#### ②「川シリーズ」

もともと大東市は昔の河内湖が隆起してできた土地で、現在も大小多数の川が流れており、川とは縁の深い地域であった。しかし、昭和47年の大水害後は治水のため、川の両岸には高い堤防が設置され、川に近づくことができなくなった。そのためか、現在は水質・景観とも良いとは言えない状態で、近隣の方に川について尋ねても、「汚れて恥ずかしい」、「見ないようにしている」といった声があった。そこで、川の水質・景観の改善を地域課題として位置づけ、「だいとう地域塾」の柱の一つとして「川シリーズ」が取り組まれている。【参考4】は、平成23年度の「川シリーズ」の開設要項である。要項をみると、大阪産業大学や「大東環境みどり会」との連携・協力のうえ講座が企画されているし、ここでも見学会の手法が取り入れられている。

#### ③「まち歩き系（プラダイトウ）」

最後の「まち歩き系（プラダイトウ）」は、地域の魅力を参加者自らが再発見していく楽しさを知ることを目的にしている。「大人の社会見学」は行くところが決まっていて、働いているところ、普段見られないところをみようというものであった。それに対して、【参考5】の平成23年度の開催要項にみられる「プラダイトウ」は、2回構成になっており、1回目に参加者全員で行ってみたいところについて意見を出し合い、2回目は実際にそこに行って記録などをとり、感想をみんなで語り合う形になっている。

#### ④事業運営など

ここまで「だいとう地域塾」を構成する3つのシリーズをみてきたが、参考資料としてあげた開催要項、いわゆるチラシは一般的な公民館や生涯学習センターではみられないカラフルな色どりで目を引くものであった。聞き取り調査でうかがってみると、「アクロス」では、ソフトはWordしか使えないけど、スタッフが頑張って作成しているとのことであつ

た。とくに、見て楽しいものだったら興味をもってもらえるということを前提に、いろいろな企画でビジュアル的にも訴えられるものを心がけて作成しているようだった。また、「アクロス」に届く他施設のチラシでパッと目についたものはどれかということを話し合ったりして、チラシの向上にも力を注いでいる。このチラシは、大東市内の公共施設をはじめ、市内のJR3駅にも置かせてもらっているとのことであったが、このチラシを見て遠方から参加される方もいるようで、その効果をうかがい知ることができる。

このような「だいとう地域塾」は、指定管理者として社会教育に意欲のあるスタッフを中心に、管轄の生涯学習課の協力や支援を仰ぎつつ企画・運営されている。この講座は、運営予算も確保されており、平成25年度まで継続が予定されている。また、この講座はアクロスの他の事業へさまざまな形で影響も与えている。たとえば、この講座のまち歩き系のシリーズで小説家の宮本輝が当時住んでいた大東市内のアパートの周辺を訪ねたことをきっかけに、彼の小説を題材とした主催講座「宮本輝と大阪の文学」の開催につながったという。

### (3) 成果と課題

#### ①事業の成果

成果についてうかがってみると、「参加者が地域について予想以上に愛着を示し、魅力を引き出してくれることがわかった」、とくに、ある見学会の際、地元からの参加者が「大東が大好き」と仰っていて、それがこの講座の最大の成果だと語ってくれた。また、地域住民の方から見学先（【参考1】【参考2】の「小金屋食品株式会社」）を紹介いただいたことがきっかけで、企業の新商品開発につながり、それがビジネスの賞を受賞するという成果に発展するなど、地域内にすでに存在する要素が、結びつき方によってあらゆる可能性があることがわかったともいう。

#### ②中高年を地域に参画させる仕掛け

中高年を地域に参画させる仕掛けについては、中高年の方は仕事も終わってとくに地域を見直そうと興味を持ち始めるので、彼らにとって「地域学」は本当に最適なのではないかとの見解を示していた。とりわけ、「まち歩き系」と「大人の社会見学」などの参加型・体験型の内容を積極的に取り入れると、満足度も高く、リピーターも増えてきたとのことであった。

さらに、講座そのものに対する受講者の参加も工夫されている。たとえば、講座終了後に参加者有志による「だいとう地域塾企画会議」を開催し、参加者からの意見や生の声を積極的に聞き、次の講座にいかすようにしている。実際、まち歩き系の「プラダイトウ」は、これまでのようシリーズの中にある形だと1つ1つの企画が埋もれてしまうとの指摘をもとに、今年度からはより多くの市民が参加しやすいように単発の形に変更し、年間を通じて気軽に参加できるようになった。また、「だいとう地域塾」の記録写真の撮影やレポートの作成などの活動を行う、ボランティアの参加も促しており、彼らのレポートはホームページで閲覧することができる。このほかにも、「市民活動なう in 大東」と題して、「アクロス」で活動されているサークルや、市民活動団体に声をかけて、交流会を企画し、彼らの話し合いの場も設定している。こうした工夫は、他地域の講座の企画・運営においても参考になるだろう。

### ③課題とこれからの展望

「だいとう地域塾」全体の課題としては、より具体的な目標の設定があげられていた。これまで、この講座は地域の魅力を引き出すことを目標に企画・運営され、一定の成果もみえてきたのだが、今後はもう少し具体的な目標を設定していく必要があるのではないかと考えていた。その際も、「アクロス」の方で勝手に目標を決めたりするのではなく、大東市におけるまちづくりやテーマ型コミュニティの方向性を考える講演会＆ワークショップを開催（平成24年4月1日予定）するなどして、市民と一緒に考え、目標を設定していくきたいという方向性も示してくれた。

また、「川シリーズ」については、水質・景観の改善という最終目標があるのだが、初期の目標として設定した、川に興味をもってもらうというところから次の段階にすすめられていないのも課題のようである。「だいとう地域塾」をきっかけにして、実際の活動への橋渡しができるような企画づくりが求められている。

（インタビュー日時：平成23年10月27日）

### （4）考察

聞き取り調査によると、「だいとう地域塾」のような「地域学」は、中高年にとって適した学習内容であることが示されていた。それに加えて、社会教育・生涯学習施設を運営する指定管理者にとっても、このような講座は効果的なものではないかと思われる。指定管理者である株式会社アステムの場合、母体がイベント会社なのでイベントそのものについてはノウハウを有していた。しかし、市立の施設としての役割を考えると、事業に地域性の付与が不可欠で、それらの情報を得るには、地域内でのネットワークづくりが必要とされる。しかし、指定管理者の場合はどうしてもこのあたりが弱い。その意味で、「だいとう地域塾」が果たした役割は大きく、「この講座がなければ館内の事業で終わってしまうことが多いので、外に踏み出せなかつたかもしれない」とスタッフも述懐していた。これらの指摘は、他の指定管理者にとっても大いに参考になるだろう。

また、「状況を見ながら参加者の意見を取り入れて皆さんに来てもらいやすいような企画を目指しているので、王道が無いというか」というスタッフの言葉が端的に示しているように、民間の指定管理者ならではの柔軟な事業の企画・運営のあり方も示唆的であった。ただ、受講者の意見を取り入ればいくほど、「だいとう地域塾」の内容は膨らみ、系統性を欠いた単発の講座を主としたものになりがちになる。学習による地域課題の解決を目指す「川シリーズ」については連続講座としての形式を残し、実際の市民活動につなげたいとしているが、そのためには系統性も必要になってくる。このあたりのバランスも今後の課題といえる。さらに、「アクロス」には「だいとう人財問屋」という人材登録バンクの取り組みもある。「だいとう地域塾」を中心に、「だいとう人財問屋」といった他の事業と有機的につながり、学んだ成果の活用も含めた仕組みづくりも今後必要になるだろう。最後に、こうした講座を企画・運営し、事業間をつないで仕組みをつくっていくには、スタッフの力量形成を促す研修が欠かせない。指定管理者においては、研修面での脆弱さがよく指摘されるところだが、「アクロス」の職員は、大阪教育大学を中心とした「社会教育施設職員の学び合い講座」にもテーマに応じて必ず1名は参加することにしているという。こうした研修も大切にして、スタッフ同士の研鑽に励み、指定管理者制度による生涯学習センターのフロントランナーになってほしい。

（熊谷 慎之輔）

[参考1] 平成22年度「大人の社会見学」開催要項

**平成22年度 大東市立生涯学習センター アクロス 主催**

**ちょつと地域レビュー**

# 大人の会社見学会

**大東の今を知る** 12月6日(月)受付開始

**1/20 水 午前10時～正午**  
「まちおこしとほんまん観光」  
担当者限定 観光カリスマ百選による  
~たのしきを元気にする運営

**1/27 水 午前10時～正午**  
「株式会社アカカベ」  
コンビニネット見学会  
お土産付

**2/3 水 午前10時～午後3時30分**  
「小金屋食品株式会社」  
大東で桥豆の製造販売!  
花の園 フレゼント  
(御菓子)

**2/17 水 午前10時～正午**  
「三洋ハートエコロジー株式会社」  
三洋電機が園芸事業!?

**2/24 水 午前10時～正午**  
「野崎参道商店街振興組合」  
たのしいまち歩き

**1回**  
**産業を知る**  
お試しOK!  
全574-0036  
大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア生涯学習センター  
TEL: 072-869-6505 FAX: 072-870-1405 E-mail: info@daito-across.jp  
開館時間 午前9時～午後10時 地図は裏面をご確認ください。  
アクロスの「セイシタ」で検索 振興組合 各日程の詳細は裏面をご確認ください。



[参考2] 平成22年度「大人の社会見学」の様子 (2/3, 2/17)



②2月3日「小金原食品株式会社」

[参考3] 平成22年度「大人の社会見学」の様子 (2/24)



③2月24日「野崎製瓦瓦瀬園組合食べ歩き」



[参考5] 平成23年度「プラダイトウ」開催要項

平成23年度 大東市立生涯学習センター アクロス主催

# 1 プラダイトウ

11月15日 火 午後2時～4時  
会場 アクロス 4階 特別会議室  
大東市内の「行つてみたいといところ」「知りたいところ」「おもしろいところ」を出し合います。

11月29日 火 午後1時30分～4時30分  
前回決めた場所に出かけ、写真に撮つたりメモしたりして、記録に残し、だいとうをアプローダした感想をみんなで語り合いましょう。

10月5日 水 受付開始  
お問い合わせ お問い合わせ 大東市立生涯学習センター アクロス  
〒574-0036  
大阪府大東市末広町1-301 ローレルスクエア生田サンタワー内  
TEL: 072-869-6505 FAX: 072-870-1405 E-mail: info@daito-across.jp  
HP: 「大東 アクロス」で検索 開館時間 午前9時～午後10時 終日図書は裏面にあります。

アクロスの 当センターの駐車場は非常に狭くなっています。  
お問い合わせるへく公共交通機関や徒歩でお越しください。

だいとうええもん

# まちの“宝”をさがそう!

団体 製品 企業 イベント 活動 人 歴史 風景 店 食べ物 生き物

だいとうのええもんを募集します。だいとうの「ええもん」、「人」、「製品」、「イベント」、「企業」、「歴史」、「風景」、「企業」、「活動」、「店」、「生き物」など、シャンリを用ひず募集しています。あなたのお持れる「だいとうのええもん」を教えて下さい!  
詳しくは、ホームページまたは、「だいとうのええもんショップ」まで。  
応募締め切り 10月30日

だいとうのええもんショップ

〒574-0026 大東市生田1-1-4 1F 生田本通商店街  
TEL: 070-5652-1188 WEB: www.daito-eemon.jp  
営業時間 10:00～18:00 月曜定休